



2022年3月期第3四半期 補足説明資料

－目次－

1. 会社概要P1-3
2. 決算概要P4
3. 連結損益の状況P5-6
4. 連結貸借対照表の状況P7
5. 2022年3月期の業績予想・配当予想P8

1.会社概要（ウッドワンとは）

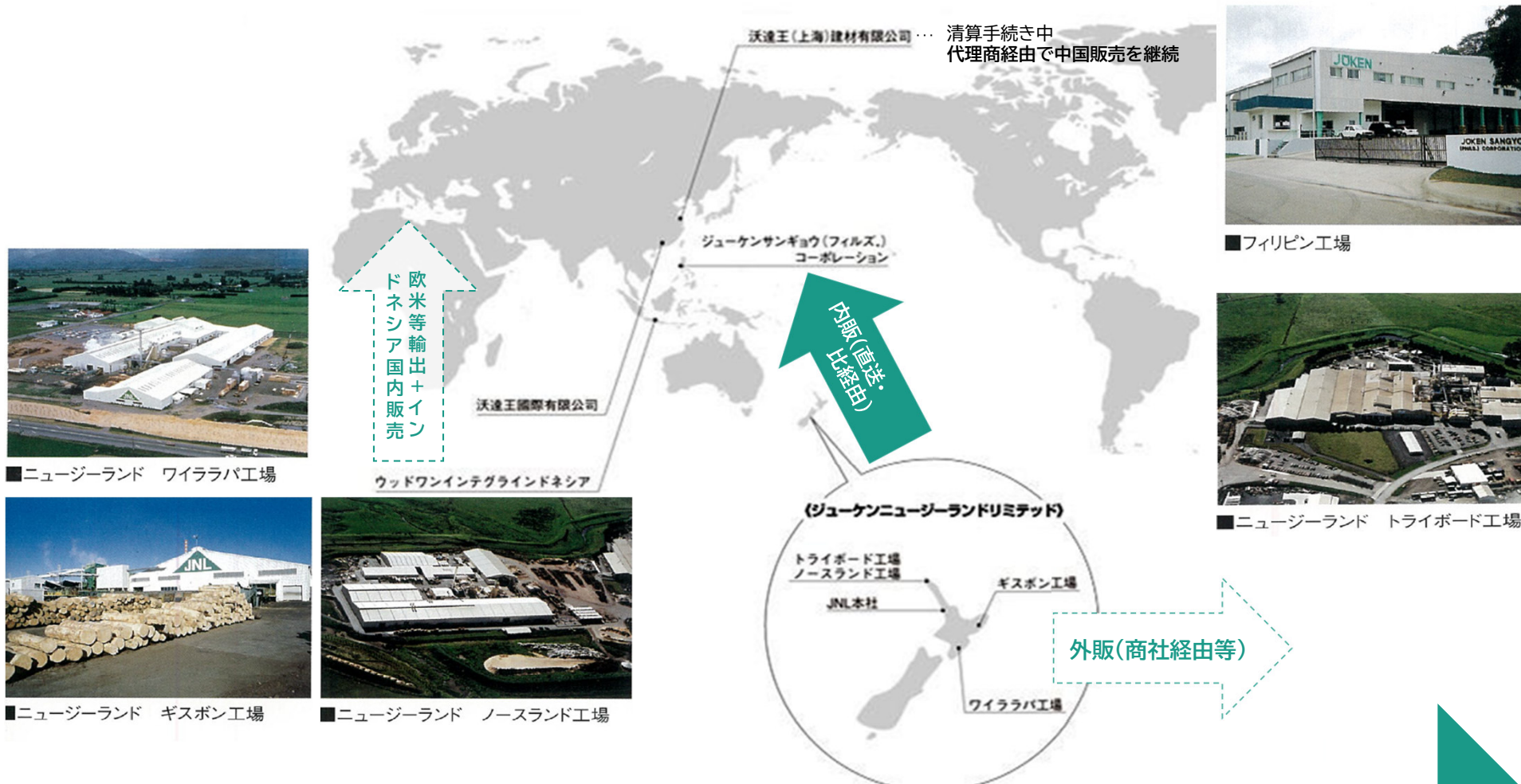


社名	株式会社ウッドワン
所在地	広島県廿日市市木材港南1-1
設立	1952年4月
資本金	73億2,497万円
従業員数	2,488名(連結)
<small>※2021年3月31日現在</small>	1,270名(単体)
営業拠点	東京・名古屋・大阪・福岡など全国46拠点
製造拠点	本社(廿日市)・豊橋・蒲郡

無垢No1
木質総合建材メーカー



(海外拠点)



一貫生産体制

原材料の確保

一次加工
二次加工

最終製品
製造

販売

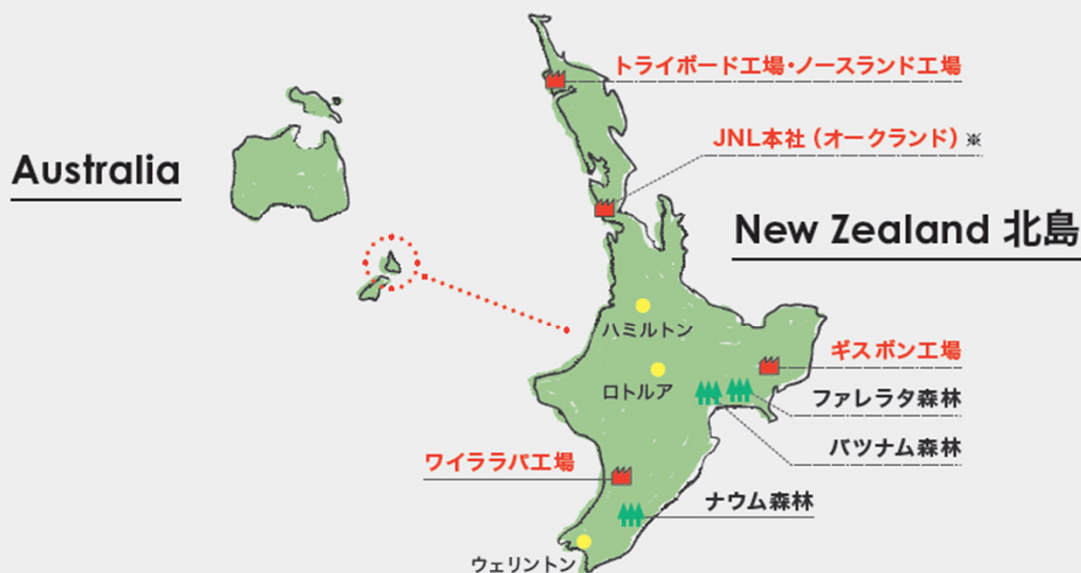
ニューゼalandで約40,000haの森林を経営
(苗木を植えることから)

端材でバイオマス発電も

ニュージーランドの“ウッドワンの森”。

日本から東南へ約9,000km 離れた「ニュージーランド」にウッドワンが大切に育てている広大な森林があります。

その規模は約40,000ha にもおよび、「木のぬくもり」を製品としてご提供しつつ、地球環境を守る経営を行っています。

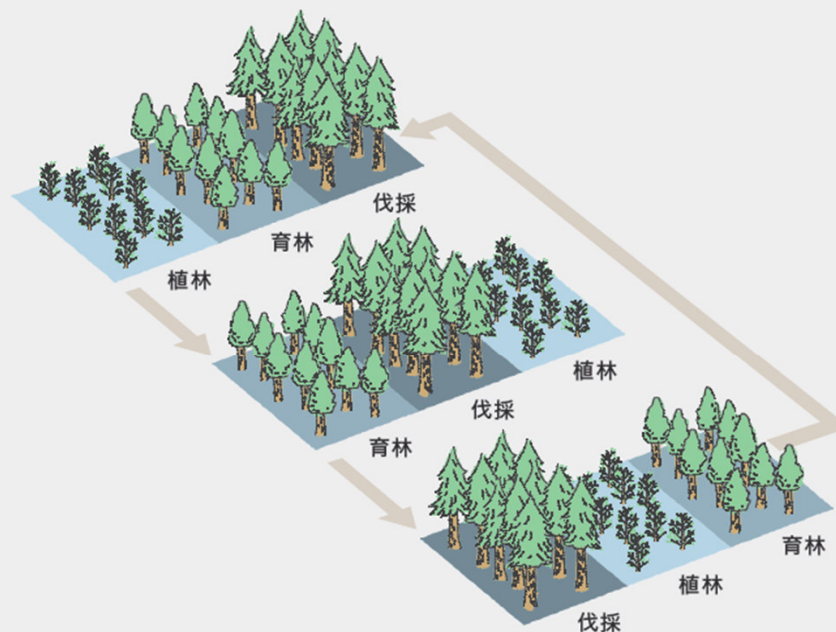


※Juken New Zealand Ltd.(JNL/連結子会社)

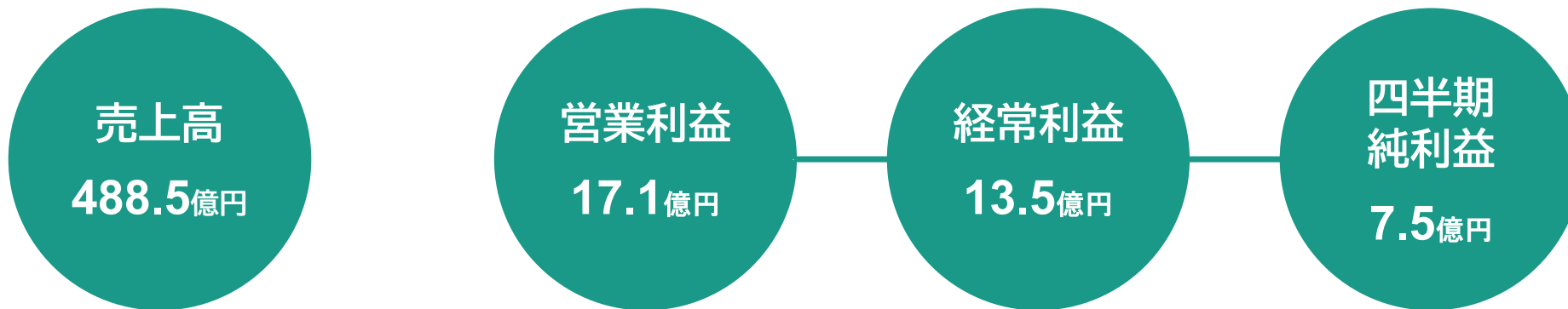
30年で次の世代へ。

ウッドワンで植林しているニュージーパイン®は、約30年で樹高40mほどに成長して伐採適齢期を迎えます。

そこでウッドワンでは、1年生から30年生までに分けた区画ごとに育て、毎年一定量の木材が収穫できるように森林を管理・保全しています。



2. 決算概要



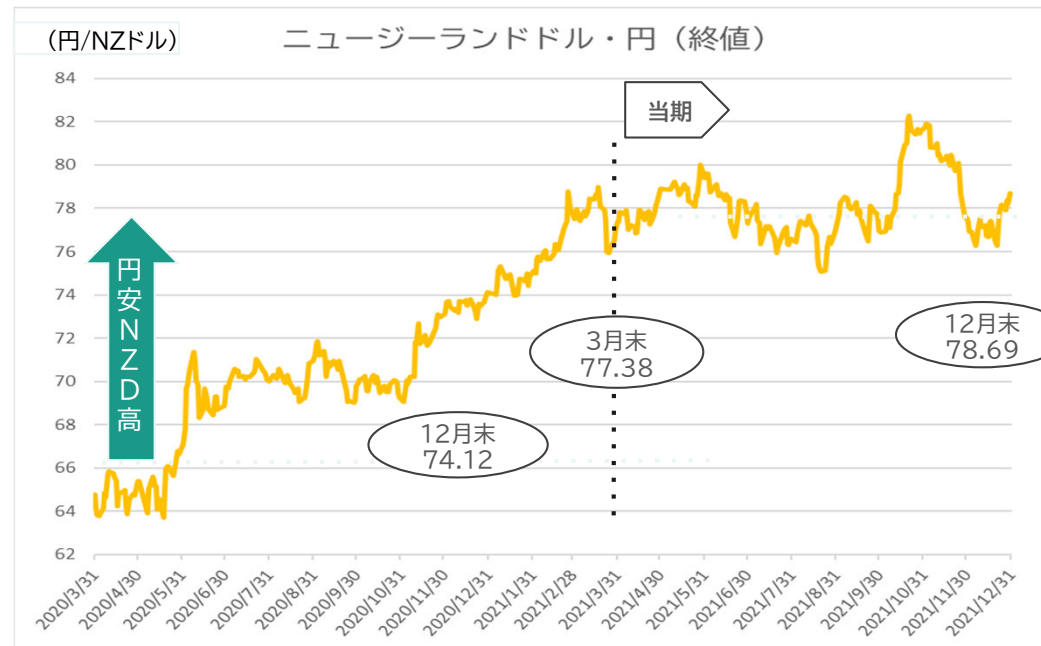
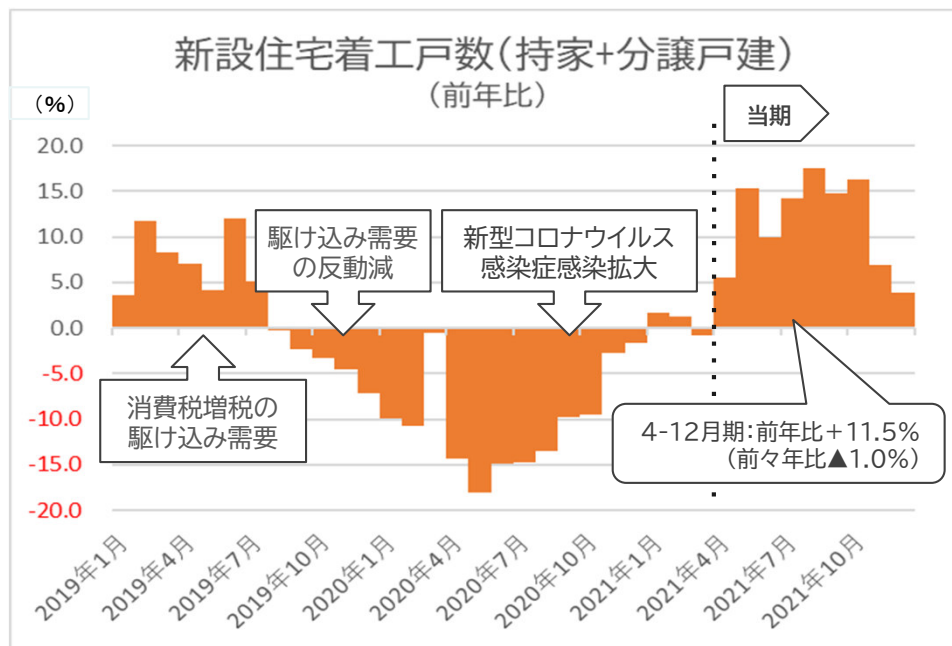
前期比 +12.7%

同 +10.7%

同 Δ0.2%

同 Δ5.9%

- 新設住宅着工戸数(持家+分譲戸建)の回復やニュージーランド子会社の外販好調などにより増収。
- 売上高の増加や販管費率の抑制に伴い営業利益は増益となったが、為替差益の減少や子会社清算損の計上により経常利益・四半期純利益とも減益となった。

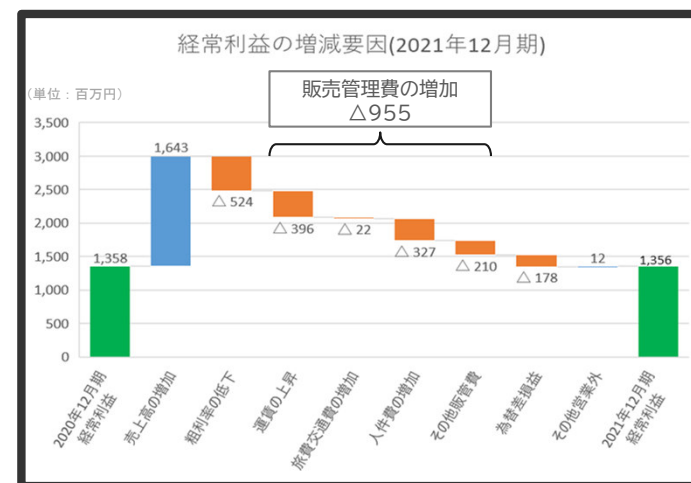
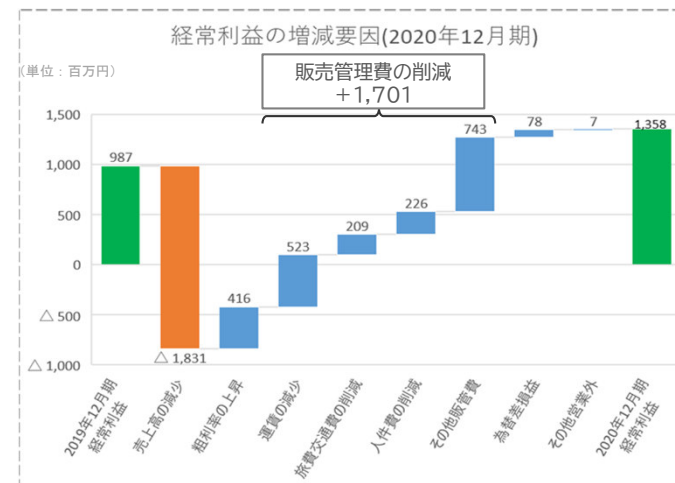


3.連結損益の状況

- 売上高の回復により粗利率の低下と販売管理費の増加をカバーし、営業利益は前期比増加。
- 為替差益の減少(△178百万円)や子会社清算損(△141百万円)の計上により経常利益、四半期純利益はともに前期比減少。

(単位:百万円)

	2019年 12月期	2020年 12月期	2021年 12月期	前期比増減
売上高	49,460	43,346	48,854	5,508
売上総利益	14,591	13,176	14,295	1,119
売上総利益率 (粗利率)	29.5%	30.4%	29.3%	△1.1%
販売管理費	13,332	11,630	12,585	955
販管費比率	27.0%	26.8%	25.8%	△1.0%
営業利益	1,259	1,545	1,710	164
経常利益	987	1,358	1,356	△2
親会社株主に帰属する 四半期純利益	625	803	755	△47



(単位:百万円)

2019.12期 経常利益	売上高の 減少	粗利率の 低下	運賃の 減少	旅費交通 費の削減	人件費の 増加	その他 販管費 削減	為替 差損益	その他 営業外	2021.12期 経常利益
987	△188	△108	+127	+187	△101	+533	△100	+19	1,356
	計 △296		計 + 746			計 △ 81			

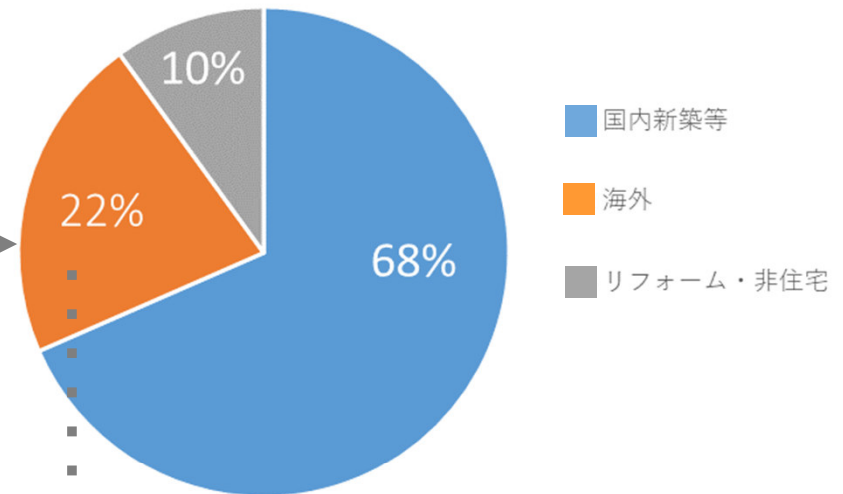
(セグメント情報)

- 住宅建材設備事業は増収増益。発電事業は5年間の激変緩和措置が終了し売上、営業利益とも減少。
- 住宅建材設備事業の海外売上(外販)は約2割。インドネシア子会社の売上は徐々に増加。

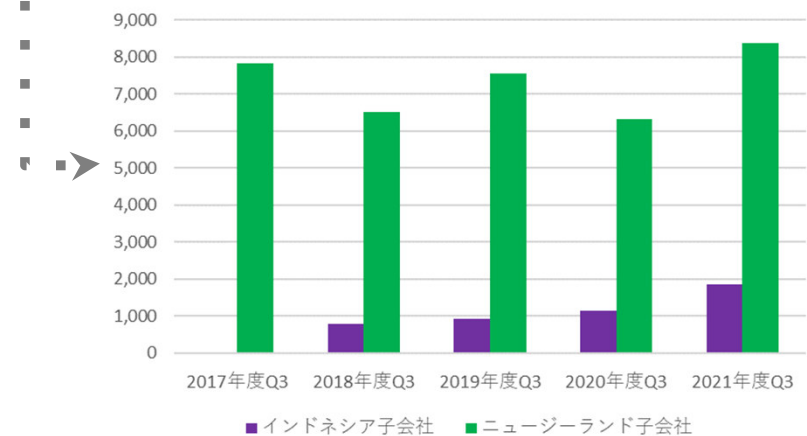
(単位:百万円)

	2019年 12月期	2020年 12月期	2021年 12月期	前期比 増減
売上高	49,460	43,346	48,854	5,508
住宅建材 設備事業	48,556	42,392	47,995	5,602
発電事業	933	973	892	△80
営業利益	1,259	1,545	1,710	164
住宅建材 設備事業	1,073	1,327	1,539	212
発電事業	186	218	171	△47

< 売上高 | 住宅建材設備事業の内訳 >



(単位:百万円) 海外販売(Q3)推移



4.連結貸借対照表の状況

- インドネシア子会社の有利子負債の一部や昨年借り入れたコロナ対策資金などを返済し、有利子負債・現預金が減少。
- ニュージーランド子会社の林地リース契約更新により有形固定資産およびその他固定負債が増加。

(単位:百万円)

	2021年 3月期	2021年 12月期	増 減	為替影響除き	
				為替影響除き	主な増減要因
流動資産	28,766	26,245	△2,521	△2,795	
・現預金	8,377	4,399	△3,977	△4,022	←インドネシア子会社の有利子負債の一部や コロナ対策資金などを返済
・たな卸資産	11,915	12,113	+198	+130	
・受取勘定他	8,474	9,732	+1,257	+1,096	
固定資産	62,375	64,465	+2,089	+1,209	
・有形固定資産(立木除く)	33,032	34,548	+1,516	+968	←ニュージーランド子会社の林地のリース契 約更新
・立木	17,070	17,853	+783	+486	
・無形固定資産	848	858	+10	+10	
・投資その他の資産	11,424	11,204	△220	△255	
資産合計	91,142	90,710	△431	△1,586	
流動負債	18,833	18,525	△307	△618	
・有利子負債	9,007	7,753	△1,253	△1,365	←インドネシア子会社の有利子負債の一部や コロナ対策資金などを返済
・支払勘定他	9,826	10,772	+946	+747	
固定負債	31,180	30,485	△694	△1,007	
・有利子負債	26,615	25,188	△1,426	△1,679	←インドネシア子会社の有利子負債の一部や コロナ対策資金などを返済 ←ニュージーランド子会社の林地のリース契 約更新
・その他	4,564	5,296	+731	+672	
(*有利子負債合計)	(35,622)	(32,942)	(△2,680)	(△3,045)	
負債合計	50,013	49,011	△1,002	△1,625	
・株主資本合計	35,648	35,729	+80	+84	
・その他包括利益累計額合計	4,433	4,922	+488	△46	
・新株予約権	150	143	△6	△6	
・非支配株主持分	897	904	+7	+7	
純資産合計	41,129	41,699	+570	+38	
負債純資産合計	91,142	90,710	△431	△1,586	

5.2022年3月期の業績予想・配当予想



- 業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による経済活動の制限や、海外での急速な景気回復による全般的な品不足や価格高騰の影響は依然、残るものの、新設住宅着工戸数が順調に回復する中、販売が当初の見通しを上回っていることや、全社的な取り組みによる生産性の向上や経費の削減などの効果も見込まれることから、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益のいずれも当初予想を上回る見通しとなりましたので2021年5月14日に公表いたしました業績予想を変更いたしました。
- 今回の業績予想の修正に伴う、期末の配当予想の変更はございません。

(単位:百万円)

[業績予想:連結]	2021/3期 実績	2022/3期 前回予想	2022/3期 今回予想	前期比
売上高	59,076	61,800	65,100	6,024
営業利益	2,343	1,700	2,000	△343
経常利益	2,068	1,200	1,600	△468
親会社株主に帰属 する当期純利益	1,170	600	900	△270

(単位:円)

[配当予想]	2021/3期 実績	2022/3期 予想
中間	12.00	12.00
期末	12.00	12.00
年間	24.00	24.00
配当性向	19.1%	24.9%